

広島大学短期交換留学 (HUSA) プログラム 派遣留学報告書 (授業履修について)

所属学部・研究科	経済学部/研究科	3	年次 (留学開始時点)
留学先大学	セントメリーズ大学 (国名: カナダ)		
所属学部・学科等名	Bachelor of art		
在籍身分	Visiting student undergraduate		
留学期間	平成 28 年 9 月 7 日 ~ 平成 28 年 12 月 5 日		

1. 履修登録について

いつ頃履修登録をしましたか。 (例: 出願時 (月頃)、出発直前 (月頃)、派遣先大学到着後 (月頃))

出発前 (7月後半)

希望の科目をどの程度履修できましたか。 (例: すべて履修できた・いくつか変更させられた・ほとんど履修できなかった)

ほぼすべて

履修できなかった理由、変更が必要になった理由を述べてください。 (例: 3年生以上しか履修できない科目だった)

日本文化の授業を受けようとしたら日本人は履修できないと言われた

交換留学生に履修制限がある科目はありましたか。どのような制限ですか。履修に際して必要書類はありましたか。

2. 履修科目について

履修科目数	合計 3科目
-------	--------

履修科目 1

科目名	Soccer; a history of Brazil
-----	-----------------------------

時間数	1週間に 150 分の授業が合計 1回
-----	---------------------

科目内容、予習・復習・試験・レポート等具体的な内容について記述してください。

毎週 reading assignment がある。Midterm test が 3回、article review 1回

履修科目 2

科目名	Social behavior
時間数	1週間に 75 分の授業が合計 2 回
科目内容、予習・復習・試験・レポート等具体的な内容について記述してください。	
Web quiz , midterm 3 回	
履修科目 3	
科目名	Intro to religious experience
時間数	1週間に 75 分の授業が合計 2 回
科目内容、予習・復習・試験・レポート等具体的な内容について記述してください。	
レポート 5 回	
履修科目 4	
科目名	
時間数	1週間に 分の授業が合計 回
科目内容、予習・復習・試験・レポート等具体的な内容について記述してください。	
履修科目 5	
科目名	
時間数	1週間に 分の授業が合計 回
科目内容、予習・復習・試験・レポート等具体的な内容について記述してください。	

*各項目について記載内容が多い場合は、行数・ページ数を適宜増やしてください。
学習の概要に関するレポート

授業選択については、一年生向けの授業（授業番号 2000 番代）は特別な申請なしに履修することができます。ただし、2000 番代以降の授業は申請すれば履修できる科目、できない科目があります。履修登録時、科目選択のところに教授のメールアドレスが書いてあるので、コンタクトをとってみると良いと思います。履修登録は出発前にしておくのが良いです。なぜなら、授業によっては定員オーバーとなり履修できない可能性があるためです。少しでも興味のある授業があれば、取りあえず履修登録することをおすすめします。また授業は1セメスターに3から5科目受講することができるのですが、受講継続が難しいと感じれば、途中で履修を取りやめることができる期間があるので、最大の5科目履修登録するのが良いと思います。個人的にこのシステムを知らなかったために、3科目のみの履修にしたことを後悔しています。5科目できるか不安でも履修登録時点では5科目履修すべきだと思います。

授業は基本的に75分×週2回(月、水・火、木)で行われています。150分で週に1回という授業もあります。金曜日は基本授業がありません。授業の評価方法はエッセイ、プレゼンテーション、ディスカッション、テスト、参加度など様々です。初めの授業でシラバスが配られるため、それで確認してください。

英語に不安のある方は大学に付属しているランゲージセンターで授業を受けることも可能です。別途費用が掛かるため私は行きませんでした。留学目的が語学力向上であるならば検討してみても良いと思います。ただ、日本人がとて多く在籍しているため意志の強さは必要になってくると思います。また、ランゲージセンターとは別にESLというところがあります。私はここをよく利用していました。ただ職員が一人しかいないので合う、合わないはあると思います。ライティング課題でつまづいたときはライティングセンターを積極的に利用すると良いと思います。テスト前は混雑するので予約をいれる必要があります。

何か困ったことがあれば、教授なり誰かに相談してみてください。また、出発前に大学よりバディープログラムの案内が来ると思います。ぜひ申請してみてください。これは、セントメリーズ大学の学生がバディーとなって我々交換留学生を助けてくれるシステムです。選ばれるバディーの熱心度により当たりはずれはあると思いますが、行く前にカナダに知り合いができ、行ってからも助けてくれる人がいることはメリットだと思います。

生活の概要に関するレポート

学生寮については、Loyola, Rice, Vanierの三種類あります。私はLoyolaのシニアルームに住んでいたののでそこについて書きます。Loyolaが三つの寮のなかで一番大きな寮になります。私はシニアルームだったためキッチンがありました。なので、ミールプランは利用せずに自炊していました。歩いて十分ほどのところにスーパーがあるので、そこで食材を買っていました。シングルルームでバス、キッチン共用という部屋でした。シングルルームの良いところは、一人になれる、そしてルームメイトにそこまで気を遣うことがないことだと思います。ただ、シングルルームゆえに留学初期は孤独を感じることもありました。

一度爆弾騒動があり、夜中の三時に寮から外に追い出されるということがありましたが、それ以外はハリファックスで危険を感じるということはなかったです。

セントメリーズ大学にはソサエティーがたくさんあります。私は主にJapanese Canadian exchange societyとサッカーのソサエティーに行っていました。新しい人に出会える良い機会だと思うのでぜひ様々なソサエティーに参加してみてください。

私は12月までの留学でしたがそれでもハリファックスはとても寒かったです。日本から防寒着を持っていくのも有りだとは思いますが、荷物になったり、十分に寒さがしのげなかったりするので現地で購入することをお勧めします。ハリファックスはバスを利用すれば主要なショッピングセンターなどには簡単に行けるので、現地で必要なものはそろえることは可能です。